

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成29年度 第1回 川西市健康づくり推進協議会		
事務局 (担当課)	健康福祉部健幸政策課 内線(4530)		
開催日時	平成29年8月31日(木) 午後2時00分から		
開催場所	川西市医師会 医療会館		
出席者	委員 (敬称略)	藤末会長 坂田委員 磯崎委員 藤木委員 松浦委員 今西委員 樋口委員 嶋川委員 蔵原委員 加藤委員 多久和委員 坂口委員 西村委員 藤原委員 日下委員 横谷委員 實田委員 田川委員 山上委員	
	その他		
	事務局	池田室長 松本主幹 坂上主幹 曾野副主幹 樋口主査 米田主査 池田主査 石見主任 越川保健師 中川 糸魚川(株名豊)	
傍聴の可否	一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	別添「審議経過」のとおり		
会議結果	別添「審議経過」のとおり		

## 審 議 経 過

平成 29 年度 第 1 回 川西市健康づくり推進協議会 審議経過（要旨）

平成 29 年 8 月 31 日

午後 2 時 00 分～

川西市医師会 医療会館

出席者：19名（欠席者：3名）

### [会議次第]

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 報告事項
  - ①「川西市健康づくり計画」の進捗状況について
  - ②健康づくりアンケートのまとめについて
  - ③ワークショップのまとめについて
- 4 諮問
- 5 協議事項
  - ①「川西市健幸まちづくり計画」の基本的な考え方について
- 6 その他
- 7 閉会

事務局	<p>議事</p> <p>【1. 開会】</p> <p>平成29年度の川西市健康づくり推進協議会を開催させて頂きます。本日は、委員の皆様におかれましては、暑い中、風が強い中、めっきり秋になった天候でございますが、ご多忙の所、本推進協議会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。最初に、本日の委員の出席状況でございますが、委員・委員・委員からはそれぞれ欠席のご連絡を頂いております。欠席3名ということで、半数以上の委員の皆様にご出席頂いておりますので、本日の会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。なお、本日の会議も公開となっておりますので、よろしくお願いたします。また、傍聴の方はいらしていません。</p> <p>《委員の改選について》</p>
会長 委員 事務局	<p>【2. 自己紹介】</p> <p>《あいさつ》</p>
会長	<p>皆さん、改めましてこんにちは。座長ということで、この回を進行させて頂きます。4時くらいまでに終わりたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。8月の最後の日ということなので、朝晩少し涼しくなってきたと思えば、日中はまだまだ夏で、残暑が厳しい折でございますが、多数参集して頂きまして、こころから御礼申し上げます。肩が凝らないということで、皆さん「さん付け」で呼ばせていただきますので、よろしくお願い致します。今日は傍聴の方が来られないという事でホッとしております。とにかく、肩が凝らない会議にしたいと思っております。いろいろな国民健康保険、介護保険関係、市民病院の関係等審議会・協議会がたくさんありまして、なにがなんだかわからないということですが、夏バテされないように精一杯努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>今日は、報告事項が3つ、それから諮問事項がございまして、協議が一つございます。あとはその他ということで、レジュメに従って進めていきたいと思っております。それでは早速ですが、報告事項の1から2に移りたいと思っております。3の①ですね、川西市健康づくり計画の進捗状況について、事務局のほうからご説明よろしくお願致します。</p>
事務局	<p>【3. 報告事項①】</p> <p>《川西市健康づくり計画の進捗状況について説明》</p>
会長	<p>ただいま健康づくり計画の進捗状況という事で、事務局から説明がありました。この件について、委員の方どなたか質問ございませんでしょうか。たくさんあるので、BからAに移ったり、あがったり、逆に下がったものも若干あります。網掛けにしてあるということなのですが、どなたかございませんか。区切っていきましょか。1ページから3ページにかけて、なにか質問ございませんでしょうか。また、最終的にご質問をお受けします。続きまして、No. 8から15くらいまで、このあたりについていかがでしょうか。ありませんか。なかなか質問がでないですが。委員さん。</p>
委員	<p>簡単ところで、会長もおっしゃったのですが、AからBとかBからAにきたなどその辺で、11ページの38番、受診者数が結構減っていると思っておりますが、なぜこんなに減っているのかをまず聞かせてください。</p>
会長	<p>No. 38ですか、肝炎ウイルス検査でA評価からB評価に、3,147人から2,629人に受診者が減少しているということでBになっていますが、この辺りはどのようにお考えですか。</p>
事務局	<p>もともと一つの要因としまして、40歳から60歳の5歳刻みの方に、昨年度から個別検診を行っております。一昨年度はおおむね1万2,000人、昨年が1万1,000人と1,000人減っております。それに比べますと減少率はかなり減少しているのですが、事務局としましては、各先生方それから保健センターに来られる方に受診の監視を務めてきたのですが、数字が減っております。</p> <p>もう一ついえますのが、肝炎ウイルス検診に関しましては、他の検診は年1回受診頂きたいということをお願いしていますが、この簡易ウイルス検診につきましては、基本的には1回限り1回検査すると、手術などで他人の血が入らない限りはウイルスにかからないという事で、国のほうもお聞きしていますので、そのような要因もひとつあるのではないかと考えています。</p>

委員	戻って、10ページの32のところですが、内容がかかりつけ歯科医を市民が持つように啓発に努めますと、その結果、この課題のどこが残っているのか、わからないのですが、そういうことが市民の啓発につながって、BからAに来たのではないかと思いますかどうでしょうか。
会長	事務局のほう、BからAに上がった理由と言うのはどうでしょう。かかりつけ歯科医師数が実際に上がったと評価していいのでしょうか。
事務局	難しいところと思います。市民実感調査では上がっておりまして、今回のアンケート調査でも若干上がっています。そんなに大きな伸びではないのですが、市民実感調査の中では毎年継続して受けている人がかなり伸びているという事で評価を上げさせていただきました。なかなか計りようが難しいところで、成人歯科検診などの節目検診でご案内している分については、そんなには人数的には伸びてないのですが、これは受けられるところは川西市の歯科医師会に限定されていて、壮年期、働く世代の方の受診率はかなり低い状況にあります。その方たちは、職域であったり勤め先の近所であったりというところで受けて頂いているのかという感じです。この辺思う少し定期的にしっかりと、行きつけではなくかかりつけの歯科医院を持っていただけるという形で、啓発していくのが課題と考えています。
委員	今、2つ質問したのですが、評価の採点というのがAからFまであって、そのAからBに、またBからAにこの評価を上げたりする出し方が、どのようにされているか疑問で、少しわかりません。
事務局	確かに、評価につきましては数字で歴然として表れるものと、事業をやっている、そのようにあがってきているという感触でわかるものがあります。判断としても、BとAは担当者の判断という形にさせて頂いております。これは全てを数値化しているわけではないので、担当の職員のほうで評価を出して、それを市として再確認してこのような評価にしたということがございます。厳密な数値化はございません。
委員	評価している担当の方はどういう範囲の方なのか教えて下さい。
事務局	こちらのほうは、職種でも事務の他に保健師や栄養士、歯科衛生士、それから理学療法士、放射線技師です。また看護師と様々な所があるのですが、おのおの担当職種の中のリーダー的な者がおりますので、その中で決めているという形になっております。
委員	わかりました。
会長	他に質問ないでしょうか。資料1のほうで何かありませんか。がん検診、タバコの受動喫煙防止対策などその辺について歯科医の方、何かないですか。受動喫煙防止は条例が国会に通らなかったのですが、タバコ、いわゆるオリンピックを目指して室内禁煙をやるという事で、反対署名運動を実施したのですが、受動喫煙防止をやってもよいというのが100万筆集まったのですが、この7月末でそれは264万筆が集まりましたので、この秋、日本歯科医師会の方から厚生労働大臣の方に署名を持っていき、オリンピックを目指して受動喫煙防止を目指してがんばりたいです。監視員の方にも多数署名頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。そういったことでオリンピックを目指して、室内で禁煙するといった方向へもっていきたいと思っております。 あと私の方から一つですが、つながりノートはBという事なのですが、つまりAでないBということは努力すると考えてよろしいでしょうか。全体的にBという評価は専門的な方がいろいろな職種の方が評価しているという事ですが、Aはそれなりの評価に行っているものの、Bというのは、すべてにおいてこれからやっていかななくてはなりません。そのように理解してよろしいでしょうか。
委員	まさにその通りだと思います。特につながりノートは全国に先駆けて川西市が先駆的に取り組んでいる事業でございますので、本当であればもうAなのでしょうけれども、まだまだ、伸びる余地があるということが担当の評価という事です。これは介護保険の方の評価なのですが、そういうような形で出してきたと理解しております。
会長	他、歯科医の方ありませんか。次の資料1はこれまでにしておきまして、また、あとで頂きますが、次に健康づくり計画の目標達成状況の進捗状況の資料1の2に進めたいと思います。
委員	資料1の2のです。2、3、4ですが、調査対象が20代から60歳の男性の肥満者、40から60歳代の女性の肥満者、あるいは20歳代女性の痩せの人となっていますが、高齢者、70歳以上は対象外になっているのに理由はありますか。
事務局	この分につきましては、国の方がこういった調査をしております、こういう調査は何でもなのですが、川西市の実績が出ましても、これが国と比べたらどうなのだというような部分があると非常にわかりやすいという面もありまして、決して60歳以上の方を無視しているという事ではございません。川西市は特に高齢化率が高いところでございますので、今後も頑張って頂きたいと思っております。以上です。

会長	国の基準に合わせたという事はよく理解できましたが、実際は一番健康上で課題を抱えているのは70歳以上という事が現状であると思うのですが、それに対する対策をお聞かせ下さい。
事務局	70歳以上で特にそのような分はないのですが、実際問題、健康意識というようですが、近年本当に高齢者の方、健康などにかなり意識が高くなりました。川西市におきましても健幸マイレージにはじめて気が付いたのですが、本当に意欲的に来ていただいています。今年度も700名募集して1,180の応募者があって今抽選している状況ですが、これをさらに広げていきます。国もいっておりますが、長寿でいても寝たきりになってはならないです。やはり健康寿命を伸ばしていくことが本人の幸せでありますし、家族の幸せというようなことを市の方もPRして取り組んでいきたいと思っています。人間ドックや後期高齢の方についても助成をしておりますので、そういう区別をしていることはございませんのでよろしくお願ひします。
会長	続きまして、資料1の2についてご質問ございませんか。
委員	2ページです、No. 8と9、指標が意識的に運動を心掛けている市民の増加という事で、男性の方、男女ともなのですが目標値よりもかなり上がっています。とても喜ばしいことであるとは思っているのですが、これからさらに上がっていくと思います。特に女性の方は実績が上がっているのですが、この辺は女性の意識の方がどんどん高くなってきた何か理由があるということですか、お聞かせください。
委員	確かに、女性の方の進出ですが、こちらの方でまたマイレージいいますが参加率や介護や健康に関する催しにしても、女性の方がかなり参加しています。出やすいという部分もありますが、高齢、同じ年ごろの方でも女性の方がたくさん出てきて頂いています。その中で今までは健康や運動については男性も多かったですが、この私達の今の見ている中では、参加人数も多いです。この状況では、女性の方が増えていくのではないかと考えております。もともと女性の方は地域とのつながりという面については男性より強くて、うまくコミュニケーションとっておられ、こういった運動についても周知されてきたのかなと思っております。
委員	私自身の感想ですが、平成23年時はまだ健幸マイレージはやっていなかったのですが、そういった中で、健幸マイレージは結構ポイントが付き、遊び心という特典が付いていて、その辺りの意識はやはり女性の方が強いというようなこともあるので、もっと考えながら進めていくと、パーセンテージは上がっていくのではないかと思います。
会長	ポイントを貯めるのは女性が得意という事ですね。他はないでしょうか。がん検診はかなり悪いという事なのですが、がん検診について、歯科医の方、何かございませんか。
委員	実質の受診率がかなり低く、職域の所で受けている方が多いというのが非常にこのデータで実感しております。ただ、集団検診での受診率を上げるためにいろいろ施策を実施しているのですが、今回アンケートをとった事でこれだけデータがまとまっていますが、実際検診をやっている本人としても伸びてこないというのが今の実感であります。この辺の所の施策を今後どのようにもっていけばよいか、もう少し受診勧奨を進めていかないとなかなか重い腰を上げてくれないかということで、なにか新しい受診勧奨方法を考えていかなければならないと考えております。 それともう一つ、受診率にあまりこだわらずに、精密検査の受診率、要精検者がどのくらいの割合で2次検診まで受けているかという辺りのデータが出ているかということも気になるところであります。
委員	検診の受診率ですが、なかなか評価というのが難しく、例えば、普段かかりつけ医の先生がいて定期的に検査を受けているなど、市民健診等に関係なく検査を受けているという例がたくさんあります。例えば、大阪府の健診機関などで人間ドックを受けられるというような方もいらっしゃいますので、一様に数値だけで受診率が少ないという事を問題視することをどう評価するかが難しいという事はご承知頂きたいと思ひます。
事務局	はい、ありがとうございます。ちなみに兵庫県におきましても北部といいますか市町村や、町、郡に行きますと、検診率が100パーセントに近いです。いわゆる郡部に行くほど、検診受診率は高いというようになっております。医療機関が少ないという事、それから集団検診で例えばバスでいくという事があります。それから大都市、都市部に行くほど検診率は低いという傾向がありますので、先ほど委員さんがいいましたような、すでに受診にかかっているという方はそちらで受診されているので、いかに日頃かかりつけを持たない、自分は健康だと思っている人をどのように受診勧奨するかということで、ターゲットはそこにあるかと思ひます。それとメディカルセンター委員会というところで月1回業者の方と協議するのですが、こちらの方は女性の方の受診が少し低いという傾向にありまして、若い女性の方をいかに検診に持っていかという事を今協議しているところです。 ちなみに川西市の健康寿命は高いのですが、ガンでお亡くなりになる数を足して比べてみると決して川西が劣っているわけではありません。高齢化率、元気な高齢化率が高いとい

	う事は他にも指標があるかと思しますので、これだけで全てを判断するのはいかがなものかと思しますので、その辺の十分な数値に関しては検討が必要だと思します。その他に、ございませんでしょうか。
委員	失礼します。4ページの22、23が私の見方が間違っていたら申し訳ないですが、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合が平成23年に比べて28年が上がっているという事は、これは増えていると読み取りますと、少し問題のある数値ではないかと思うのですがその辺はいかがでしょうか。
会長	20についていかがですか。飲酒率が上がっているのではないかというご質問ですが、
委員	その通りでございます。前回、これは5年ごとの調査なのですが、今年度の調査の中では男性も女性も率が上がっています。目標についても前は目標に非常に近い数字においたという事もあるのですが、反対に目標から遠ざかっているというようなことでこの辺についてはいろいろな要因等がまだわかっていけませんので、検討課題であると思っております。以上です。
会長	よろしいでしょうか。
事務局	歯科の方は、虫歯3歳児の割合が非常に減って効果が出ているということ、それから定期的な検診、歯科のほうは検診、受診率が高いです。この辺また参考になるのかと思しますので、受診率を上げる方向については、今後とも行政の方と協力していきたいと思っております。
会長	委員さんどうぞ。
委員	1ページのNo.5から7番の、朝食を欠食する市民の減少という事なのですが、28年度のデータはまだ出ていませんか。
事務局	朝食の分につきましてはこれは食育に関します市民調査から出てくる分で、市民実感調査から出してきた分ではありませんので、5年に一度という部分に載っております。今回の健康まちづくり計画につきましては、まず前段の健康、前の計画がありましたのでその部分から評価の項目が多かった為、朝食に関する設問は今回は入れさせて頂かなかったので、前回の食育の評価を行う時の平成27年3月の時の数値のみとなっております。
委員	ありがとうございます。27年度と23年度と比べますと非常に悪い傾向になっているということになるのかなと思します。これは、いろいろな社会環境もあろうかと思しますが、どのように評価されていますか。
会長	事務局さん評価はいかがでしょうか。
事務局	食育につきましては、まさに委員には食育推進会議の会長としまして、そちらの方でもお話をさせて頂いたところにはなっているところですので。こちらにつきましても国及び県におきましても、若い世代の欠食という事が広がってきているという風なところが大きな課題となっておりますので、また、国や県との取り組みなどをこちらの方も勘案しながら、今後の対策として検討していきたいと考えております。
事務局	これ言うだけではなかなかできない、かなり社会環境が影響してくると思しますので、その所を踏まえて検討していく必要があると思っております。
会長	それでは、次の②に移らせてもらってよろしいでしょうか。健康づくりアンケートのまとめについて事務局の方からご説明お願い致します。
事務局	<b>【2. 報告事項②】</b> 《川西市健康街づくり計画のアンケート調査の結果報告について説明》 《親子の健康作りアンケート調査について説明》
会長	ありがとうございます。2つあるのですが、まず一つ、前半で健康づくりに関するアンケート調査結果、これについてご質問ございませんでしょうか。サマリーや要約はページ13から16ページになります。その詳細については説明にあった通りです。この最初の方についてご質問ございませんでしょうか。後の方の保護者乳児健康診査の対象児の保護者へのアンケートは723通のうち回答が620通、85.8パーセントでこれはかなり高いのですが、前半の方は配布数3,000、回答が1,100という事で、37.6パーセントという回答率とその中での調査結果の報告です。つまり6割がたの回答がないという事なので、その辺についてどのようにお考えでしょうか。
事務局	有効回収率の関係で、まさに本協議会の中でも前の時に景品やそのような物を付けたらどうかという話をしたと思します。あとはネット環境でできるなど、いろいろなご意見頂いています。ただし、今回も同じ郵送による方法にしました。それで、この計画やアンケートなのですが、今、アンケートがたくさんあり、川西市でも毎年実態調査や、今回も川西市の計画関係で、総合計画以下、13ほど見直しがあるわけで、福祉でも4つの計画がありまして、このアンケートも3か月位の間にその4つの計画のアンケートを回しました。出来るだけ福祉の中ではだぶらないように無作為抽出なので、市民のみなさんからしますと

	また来たのかと言う風になってしまっているというのが現状でございます。これについては原始的な取り組みの中、いろいろな方法、情報化社会ですので、紙ベースが良いのか、といろいろな項目から検討していきたいと思います。しかし、結果的には40何パーセントあったのがこの40パーセント切っておりますので、その点につきましてもこちらの方は反省材料と、今後の検討材料であると思っております。
会長	例えば25ページの特定検診の受診率を見ますと75.9パーセント、実際は30パーセント全人口受診対象者からすると6割ぐらいです。このアンケートに回答されていない方をいかにどうするかという事とアンケート調査数を上げないとこのデータが独り歩きすると大変な事ではないか、と思いました。今後、調査アンケートの回数、回答率を上げるようにしていただきたいと思います。市民の代表の方向かご意見ありませんか。
委員	特定健診もずっと来ていましたが、今年初めて夫婦で受けようという事で受けました。そして病気が見つかって精密検査をするような事になり、やはり大事だと思ながらも、健康だと思っていたので機会もなかったですし、これを見てよく分かりました。アンケートについてですが、たくさんあっても、だいたいでよいかという感じで主人は書いていました。なかなかそこまで一生懸命回答ができないと思っています。
会長	委員さん何かございませんか。
委員	私は若い時から病気ばかりしていたので、特定健診を何回もご案内いただきますが、医療にかかる率が高いので、私は受けた事がありません。
会長	委員さん、何かありませんか。
委員	私も自分自身、過信ばかりしていたので、一度も受けた事がありません。自分自身で健康だと思っていて、この年になって何か悪い所があればそれでいいというほどで、いけないと思いながら聞いていました。以後頑張ります。
会長	ありがとうございます。皆さんにいかに健診を受けてもらうかでしょう。
委員	特定健診の事が出ましたが、封筒に入ってきますが、それで行こうか、行かないかと言って委員さんのように受けない方もいます。逆に高齢者の方は病院にかかる方が多いと思います。医師の先生方、医師会の方から勧める事は出来ないのでしょうか。
会長	医師会の先生。
委員	受診率を上げる工夫という事をセンターでやっています。
委員	ご指摘いただいた点がまさに課題でして、今、一つ考えているのは、年齢別、性別にターゲットをしばって受診勧奨を促す、という事を考えています。それから、猪名川町と川西市と合同でビジョン協議会というのを立ち上げているのですが、猪名川町は全体的に受診率が高いです。クーポン、あるいは案内をこまめにやっており、よいと思っています。当然お金の問題などもありますので、ビジョン協議会という所で今それについて具体的に話し、協議させていただいているところです。
事務局	ありがとうございます。健診というのはすでに医療機関にかかっている人、これは当初、特定健診の場合は1年目、2年目の病気があれば除外するという目的で募集欄から外していたのですが、今は年齢が全て対象人口になっていて、受診されている方も来られますので、先ほども言いましたようにこのアンケートで30なんパーセントの方が非常に健康に関心をもっている方はよいのですが、本当に受診院にもかかされていない、かかりつけもおられない方をどのように受診するかという事が今後の課題だと思います。引続いて行政の方とこれについては協議していきたいと思います。
会長	前半何かございませんか。委員さん何かありませんか。
嶋川委員	定期健診の胃の検診で、設備の環境もあるかと思いますが、これをバリウム検診以外の所に胃カメラを適用できないのでしょうか。また、血液検査ですが、成人病関係、いわゆる生活習慣病的な血液検査項目しか入っていないのですが、オプションでもよいのですが、希望する血液検査項目があれば受け入れていただく事は今後検討してもらえるとありがたいです。
会長	また行政の方とご相談、今後検討をしたいです。まだ今日はご意見いただいていない委員さんいかがですか。
委員	まだ、全体像がわからなくて意見できていませんでした。先ほど若い年代のがん検診等の受診率の話がありましたが、娘が二十歳で初めて子宮頸がんのクーポンをいただいたのですが、普段とくに医者にかかっている世代なのでハードルが高いようです。ただ友だちの中で行った人がいて、そこで何かが発見されたという話を聞きながら、だんだん自分の事のように自分の問題のように捉えはじめているのかという感じです。18歳になったら選挙に行くというキャンペーンがあったように、それが普通の事だとあの世代には啓発が必要であると身近では感じています。
会長	ありがとうございます。広報活動、啓発が必要という事ですね。食のあたりについて委員さん何かございませんか。

委員	食の事で今のところ小さい子どもから大人までいろいろと食の問題はありますが、食の安全、安心の方が大事だと思っています。大変であることもあり、このごろお年寄りの料理はしなくなりました。売っているものを買って食べるというので、その分やはり、行政としてもよい材料を使って安心な物をぜひ出していただきたいと思っています。
会長	時間がかかり押していますので、申し訳ございませんが、前半はこの辺でよろしいでしょうか。
会長	続きまして後半のページ93、94が総括でその後にアンケート調査があります。この件について子ども、子育てについていろいろ出たと思いますがこの事についてご質問ご意見ございませんでしょうか。
委員	妊婦さんの話ですが私たちの周りに一人っ子が多いという中でもたくさん産んでいる人はたくさんいます。ここのサービスのところで目標額が80パーセント、これを100パーセントにして産んでよかったという状況をつくっていただければありがたいと思っています。私たちの周りには子沢山が、たくさんいますので日本も安心かなと思いつつそういう事をしていただければありがたいと思っております。
事務局	要望という事でよろしくをお願いします。
会長	あと、歯科の方で委員さん何かございませんか。
委員	特にはないですが、家族構成や親について今の生活をうつつした結果かなと思います。子どもが少なくなると親が子に手をかける時間が多くなり、その結果、子どもの数も減っているのかという感覚を受けました。
会長	委員さん何かございませんか。
委員	私の娘の孫が、今現在オーストラリアのシドニーにおります。こういうサービスは全くありません。例えば子どもの子育ての相談に保健センターで保健師さんなどが何か心配事何かあれば来てください、というような行政サービスがあります。そういうものは海外では全くないです。ですから、この川西市の住民がすごく恩恵を受けているという事自体を意識づけしないと結果として結びついていかないのではないのでしょうか。そういう情報はどんどん入って来ますので日本や川西市はすごい事やっているなというのを住民にも知らせなければいろいろな意味での健康の受診率も上がっていくのではないかと、思つて視点を変えていく必要もあるのかなと感じています。
会長	ありがとうございます。他ございませんでしょうか。時間押しています。手短にお願いします。
委員	122ページで歯と口の健康づくりについて、教えていただきたいのですが、その調査項目の中に、お茶は食事中ではなく食後に飲むようにしているということです。日常的にはそうですが、前回調査対象に入っていませんでした。今回入っていますが、これはどういう事を意図しているのでしょうか。お教えてください。
委員	子どもに限らず成人もですが、よく噛みましようということは一般的によくいわれていると思いますが、できるだけ食事中に水分で流し込むような事は避けて、落ち着いて自分の唾液をしっかり出して、噛みましようという事です。小さい子どもの頃から何か飲みながら、食事をするのが当たり前のようになされている方がおいしいのですが、やはり、食欲に影響したり、胃液を薄めたりという事も言われています。ここ最近むし歯予防よりは、よく噛む力をつけて、あごをつくっていききたいという事で、この中の一つのこういう事も気をつけたらどうかという事で歯科保健指導の中で言わせていただけてきて、それがどれぐらいお母さんたちに浸透しているのかという事で調査にあげさせていただきました。
事務局	ありがとうございます。よくその意図が事務局も認識していませんでしたので、ありがとうございます。
会長	次に移させていただいてよろしいでしょうか。では資料2事務局のほうから説明をお願いします。
事務局	<b>【3. 報告事項③】</b> 《健幸まちづくりワークショップについての説明》
会長	川西市の健幸まちづくり計画ということで、この計画書を作るという流れになっています。先ほど、アンケートについて十分な意見をいただきましたので、それらをふまえて、進めて行くということでよろしいでしょうか。新しい項目としてSWCがありますが、市民の方の認知度が低いというアンケート結果でございました。それから、第6章の食を一つの章にあげて、もう少ししっかりやっていくというところが、新しい取り組みかと思つています。この件についてご意見ございますか。
委員	大変結構なことだと思います。ただ、今回ワークショップに1日に出席させていただきました。そういった中、先日川西市地域福祉計画について各地域でやっています。基本的な意味では第5次の計画が吟味されます。並行的に吟味していますので、わたしとしては今



	回の健幸まちづくりの計画はもう少し印象強く、ほかの計画に入れるべきであると思うのですが、平行してやっていますので、従来の計画からあまり変わらないことを福祉計画でやっています。これが5年計画といわれているのですが、これは行政のなかでももう少し調整をしていただいて、こんなに立派なものを出すのであれば、もう少し地域の福祉計画などは、半年おくれや、1年遅れで議論する方がよいのではないかと思います。頭だけで、実際の議論についてとんでしまい、このようなことは現場では現状あってないのではないかとこのことを申し上げます。
会長	いろいろな計画をこの時期にやらないといけないということで、その辺行政のほうで連携を密に繋いで、ご意見を参考にさせていただきたいです。この辺についてなにかありますか。
委員	2点あります。4番目のアンケートとワークショップからみられる主な現状と課題について、主に取り上げるということですが、アンケートの対象者にも疑問を持っている中で、回収率も悪く、それだけを取り上げていくだけではないでしょうが、他にも考えながらやってくるのかなというのが1点です。いま、委員さんにもいわれたのですが、地域福祉計画をするうえで市民の声、特に福祉に関わる方の声が十分反映されていないことが他の市議会等で出ていますので、しっかり議論、協議していただき、この場に反映していただきたいです。
会長	事務局はいかがですか。
事務局	おっしゃることはよく分かっております。アンケート、ワークショップ、ここに出しているものも、一部ですので、その中で強弱をつけてやっていかないといけない部分を選別していく作業も必要であると思います。また、実際の事業を行っていますので、その事業の進捗の具合もみながら、目標を作って、それについてもっていくというなかたちで。そのための、参考資料としての、アンケート、ワークショップのデータと考えております。あと、市民の意見等につきましても、そのためにアンケート、ワークショップもしたわけですが、また、パブリックコメント等もごさいますし、市の仕事のなかで市民の方と保健センターで特に接する機会も多いので、新しい切り口については、他部署とも健幸まちづくりというかたちにもなっていますので、健幸をいろいろな分野に広げていくというようなことも、当然ありますのでそのようなかたちでもっていったらなと思いますのでよろしくお願い致します。ぜひこの委員会のアンケートだけではなくて、この委員も反映していただきたいと思いますのでよろしくおねがいします。
会長	時間かなりおしております。委員さんなにかありますでしょうか
委員	今、お話がでております。例えば、資料3の6のところですか。基本的な考え方の1から3でしたら、かなり介護保険事業計画との整合性を図られていくと思いますし、アンケート調査も、多分他の計画策定において、アンケート調査をしているというところもありますので、相互に活用しながら、良い計画ができていくとよいのだろうと思います。
会長	ありがとうございます。委員さん、何かございますか。
委員	皆さんの意見で集約されていると思いますが、先ほど委員もいわれていたのですが、アンケート、ワークショップなど、固定的な部分の今まで行われていたことでこの計画が作られて、今の現状になっているのですが、これからの時代は、もう少し大きな部分で市民の思考の調査の仕方を考えていく必要があると思っています。今はビックデータなどを利用されているので、市民がどのような検索キーワードを検索していて、どのような動向にあるのかを取り入れていただいて、次回の計画にいかしていただきたいと思っています。
会長	ありがとうございました。委員さんいかがですか。
委員	健幸まちづくり計画をするということで、パブリックコメントもされるということですが、パブリックコメントは意見が言いたい方しか、意見がうけとれないと思うので、意見が言えない方や言いにくい方からの声も重要にしていただきたいと思います。
会長	ありがとうございました。他にありますか。ではその他に進みます。
事務局	<b>【6. その他】</b> 《その他について説明》
会長	ありがとうございました。ご質問ありますか。これはいいですか。説明をお願いします。
事務局	《仮称、川西市低炭素型複合施設について説明》
会長	ありがとうございます。予定していた内容が終わりましたので、マイクを事務局のほうにお渡ししたいと思います。よろしくおねがいします。
事務局	本日はみなさま、活発なご意見をありがとうございました。計画策定につきましては本日

	<p>の骨子をもとに作業を行って参ります。今後の予定ですが、計画策定につきましては、今年度は川西の後期基本計画の策定年度でございます、市のたくさんの計画が同時に動くこととなりますので、全体の動きを見ながら作業となります。今のところ、計画の素案をご検討いただく議会の開催を11月に予定しておりますので、また開催につきましてはご協力よろしくお願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p><b>【7. 閉会】</b>          ありがとうございました。議長の不手際で予定を5分超過してしまいました。すみませんでした。本日は長時間に亘り、ありがとうございました。これにて終了させていただきます。</p>